

No.	項目	意見元の課・病院	意見	対応方針（①～は議論の順番）	論点
1	第2 1 (1)～(5)	感染症対策課	「新興感染症への公立病院としての役割」という記述が、意味がわかりにくいので、「新興感染症に対する公立病院としての役割」に変更してはどうか。	今後、検討・調整	
2	第2 1 (1)	信州医療センター	救急医療と産科医療についての記載を追加いただきたい	今後、検討・調整	
3	信州医療センター	信州医療センター	「訪問看護ステーション」を黒字から緑字に変更（第4期から実施する事項のため）	今後、検討・調整	
4	第2 1 (2) ころの医療センター 駒ヶ根	ころの医療センター 駒ヶ根	「災害拠点精神科病院の検討」を削除していただきたい（削除の理由） ・ 自主財源で拠点病院として整備することは難しいため。 ・ 南信に位置する当院のみで、長野県全域の受入れが難しいため。	今後、検討・調整	
5	第2 1 (3) 阿南病院	阿南病院	高度・専門医療の提供とありますが、病院のスタッフ・設備、地域から求められる病院像などを考えると、阿南病院での高度医療の提供は考えられませんので、「高度」は削除を希望。 また、「専門医療の提供」とありますが、専門医療の提供をめざす病院ではなく、住民の皆さんにとって身近な「かかりつけ医」のような病院です。 また、「新興感染症への・・・」についても、保健所から患者受け入れの要請があった場合、これに応じますが、阿南病院には感染症の専門医がおらず、今後の採用予定もありませんので、「専門医療の提供」は難しい状況です。（多分、駒ヶ根も同じ） 「新興感染症への対応」が重要ならば、「専門医療の提供」の中に含めるのではなく、別の新しい項目を設けてはいかがでしょうか。	2月8日に議論① →駒ヶ根・阿南について今後、検討・調整	「高度・専門」のより良い括り方、表記の仕方
6	第2 1 (3) 阿南病院	阿南病院	「がん医療」とありますが、がん患者に対して阿南病院で出来ることと言えば、がん診療連携拠点病院（飯田市立病院）への患者紹介程度です。これをもって「がん医療」とするには、無理があるように思います。削除してはどうでしょうか。	今後、検討・調整	
7	第2 1 (4) 木曽病院	木曽病院	訪問看護ステーションについて、R6年度開設を計画していますので追加記載願いたい	今後、検討・調整	
8	第2 2 (3)	阿南病院	関係機関との連携で「児童相談所」が例として記載されていますが、「保健所」との連携も大切ではないでしょうか。当然のことなので、あえて記載する必要はないという考え方もあるのですが・・・	今後、検討・調整	
9	地域の保健・福祉関係機関等との連携	阿南病院	阿南病院では、中学生を対象としたBLS（一次救命処置）講習会を開催しています。このような地域への貢献事業も例示として記載してはどうでしょうか。 案：（阿南）中学生を対象としたBLS講習会の開催	今後、検討・調整	
10		医師・看護人材確保対策課	「総合医の養成」と記載している箇所について、「総合診療医等の養成」に変更してはどうか。（理由：日本専門医機構において、総合的に診療を行う医師を「総合診療医」としているため。）	今後、検討・調整	
11	第2 3 (1) 県内医療に貢献する医師の確保・養成	医師・看護人材確保対策課	「（例：信州の特定看護師養成研修）」が信州医療センターで行っている看護師の特定行為研修を指しているのであれば、「（例：信州医療センターでの看護師の特定行為研修）」としてはどうか。（理由：保健師助産師看護師法において当該研修の名称は「特定行為研修」とされているため。）	今後、検討・調整	
12		医師・看護人材確保対策課	「初期研修医及び専攻医の積極的な受け入れと養成」と記載している箇所について、「研修医等の受け入れと養成」に変更してはどうか。 県として、今後の各病院の規模・役割をどの方向に持っていきたいかに応じて、その支障とならないような表現を考慮した方がよいのでは。（信州医療センターが臨床研修病院等を継続していくのか否かなど）	今後、検討・調整	
13	第2 3 (3) 県内医療従事者の技術水準の向上への貢献	信州医療センター	表現の変更 「信州の特定看護師養成研修」⇒特定行為研修指定研修機関としての特定看護師の養成	今後、検討・調整	
14	第2 3 及び第2 4	阿南病院	「医療従事者の養成と専門性の向上」が3番目、「医療の質の向上に関すること」が4番目という順番ですが、まずは県立病院機構の医療の質を高め、それを県内の医療水準全体の質の向上に波及させていくのであれば、3番目と4番目の順番は逆なような気がします。 内容が似通っているので、3番目と4番目を一緒にしてしまうという考え方もあるかもしれません。	今後、検討・調整	
15	第3	本部	経営改善を前面に打ち出すべき（第2を財務内容の改善に変更）	本文（前文）で対応を検討	
16	第4 1 (2) 費用の抑制	こども病院	（本部の中長期ビジョンの記述：「人口減少を見据えた病院のダウンサイジングを考慮した最適な職員配置の検討」に対して） 当院では、下記①～④の理由から現時点でダウンサイジング（病床規模の縮小及び職員数の減）は想定できません。各病院によって状況が異なるため、文言に一部追記をお願いできますでしょうか？ （追記案）人口減少を見据えて各病院の特性に応じたダウンサイジングも考慮した最適な職員配置の検討 ①小児医療の基幹病院として、小児・周産期分野における急性期機能の集約化・重点化に対応できる体制の構築が求められていく。 （公立病院経営強化プラン、地域医療構想、第8次長野県保健医療計画の動向より） ②地域の医療機関において小児医療への対応が困難となり、こども病院が担う役割の拡大が見込まれる。（他の二次医療圏からの流入含む） ③移行期医療の充実、医療的ケア児への総合的な支援など拡大するニーズへの対応強化が求められている。 ④次期診療報酬改定において、重症新生児への手厚い看護体制に対する評価の新設が見込まれている。 この評価加算が実現した場合、大幅な収益増加・経営改善となる。 但し、手厚い看護体制（2対1）の維持が必要であり、高度な専門性を有する看護師の育成と確保が必須である。	2月8日に議論④	ダウンサイジングについて
17	第5 2 長期を見据えた施設・投資のあり方	木曽病院	病院の建て替えについて、構想から設計、建築まで10年程度の期間が必要となる大きなプロジェクトになることから、計画時点から重要項目に記載することはいかがでしょうか	2月8日に議論②	建て替えについてどこまで、どう表記するか
18	第5 3 公立病院経営強化ガイドラインを踏まえた取組	木曽病院	大きな流れとして、病床数の見直しについて項目に掲げる必要はないでしょうか	2月8日に議論③	病床数の見直しを第4 1、第5 2も含めどう表記するか
19	骨子案の考え方	感染症対策課	「第4期中期目標で盛り込むのが望ましい観点」に新興感染症への公立病院としての役割を追加いただいたが、県立病院機構は、新興感染症に限らずその他の感染症にもご対応いただいていることから、以下のような記述に変更してはどうか。 【変更案】感染症（新興感染症を含む）に対する公立病院としての役割	今後、検討・調整	